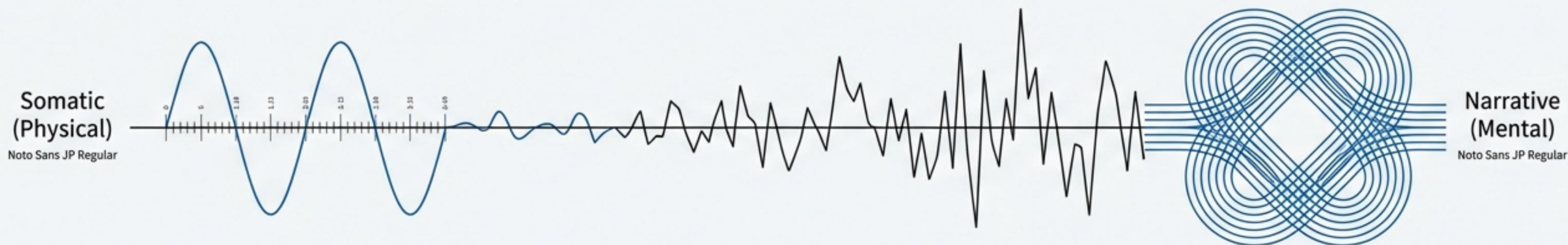




うつ病の発生学的・発達論的モデル

形式的概念図による、自閉症・愛着障害・トラウマとの構造的差異

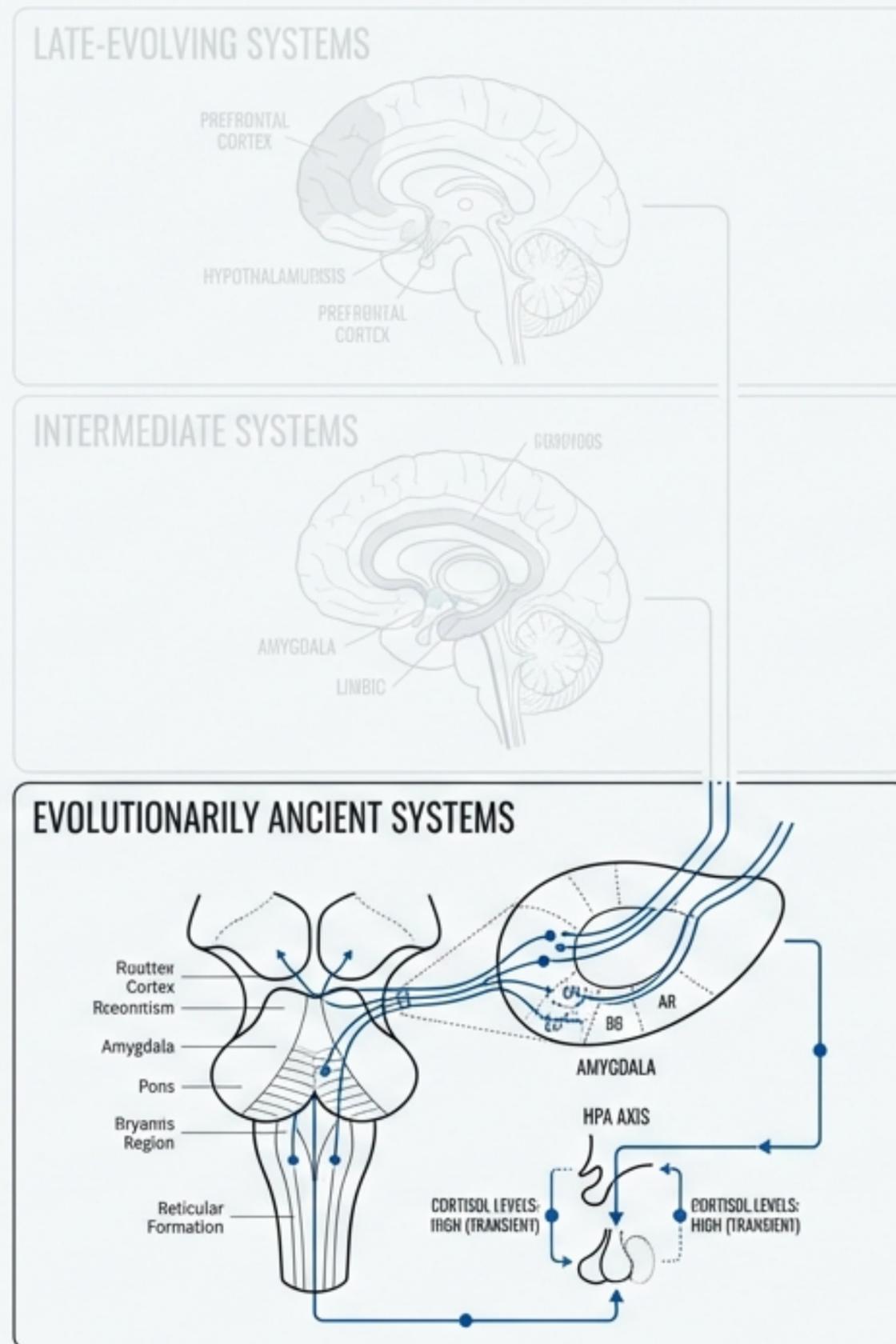
うつ病は、単なる小児期の障害ではない。
「自己」「時間」「意味」の成熟によって
可能となる、情動の物語的変容である。



児童期：身体的情動と急速なリセット

語られない苦痛 (Non-narrativized distress)

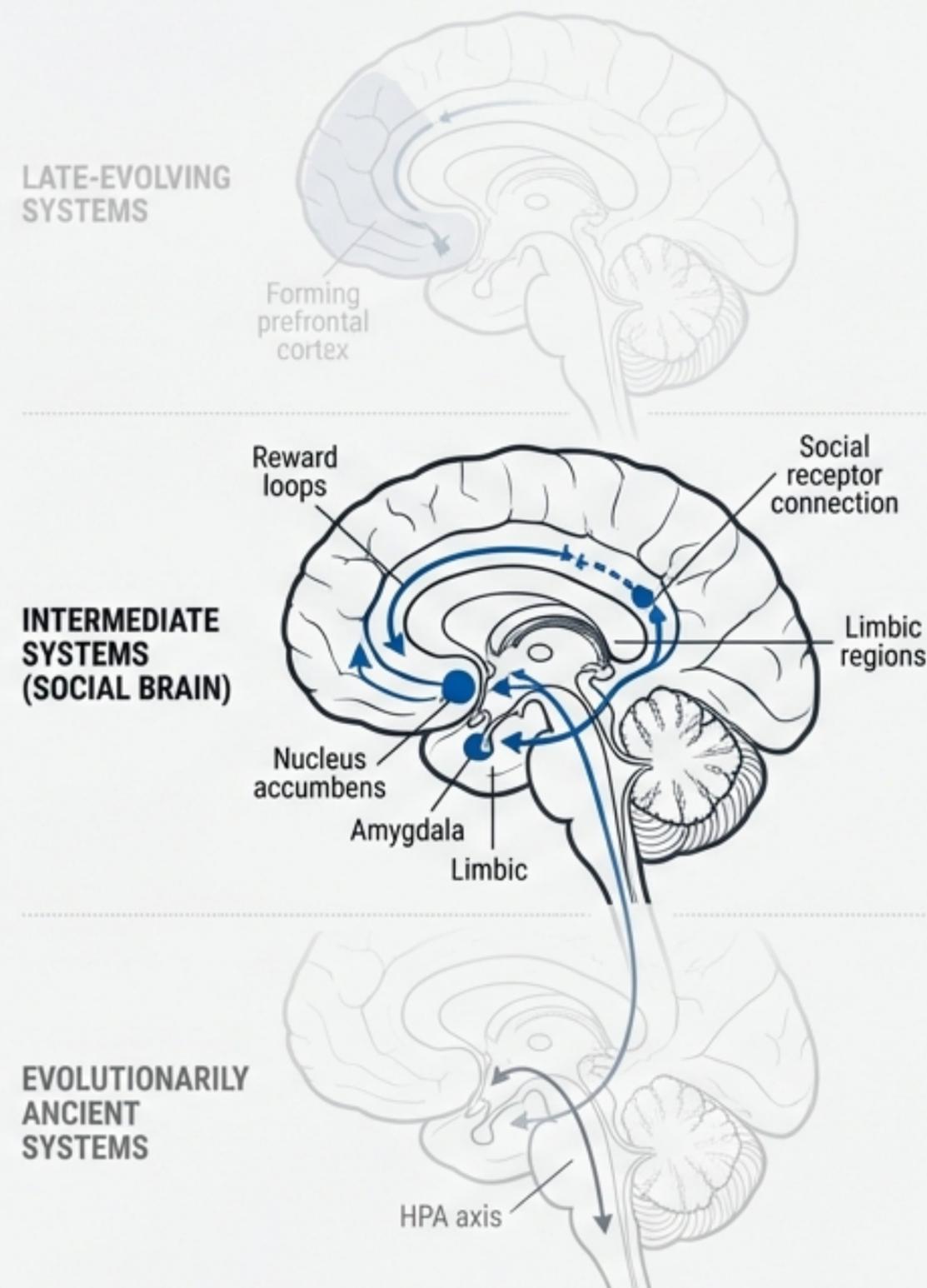
- 入力：ストレス反応 / HPA軸
- プロセス：身体的な情動表出
- 結果：睡眠と可塑性による急速な回復



思春期：社会的苦痛と「パターン」の形成

自己同一性の萌芽 (Emerging self-identity)

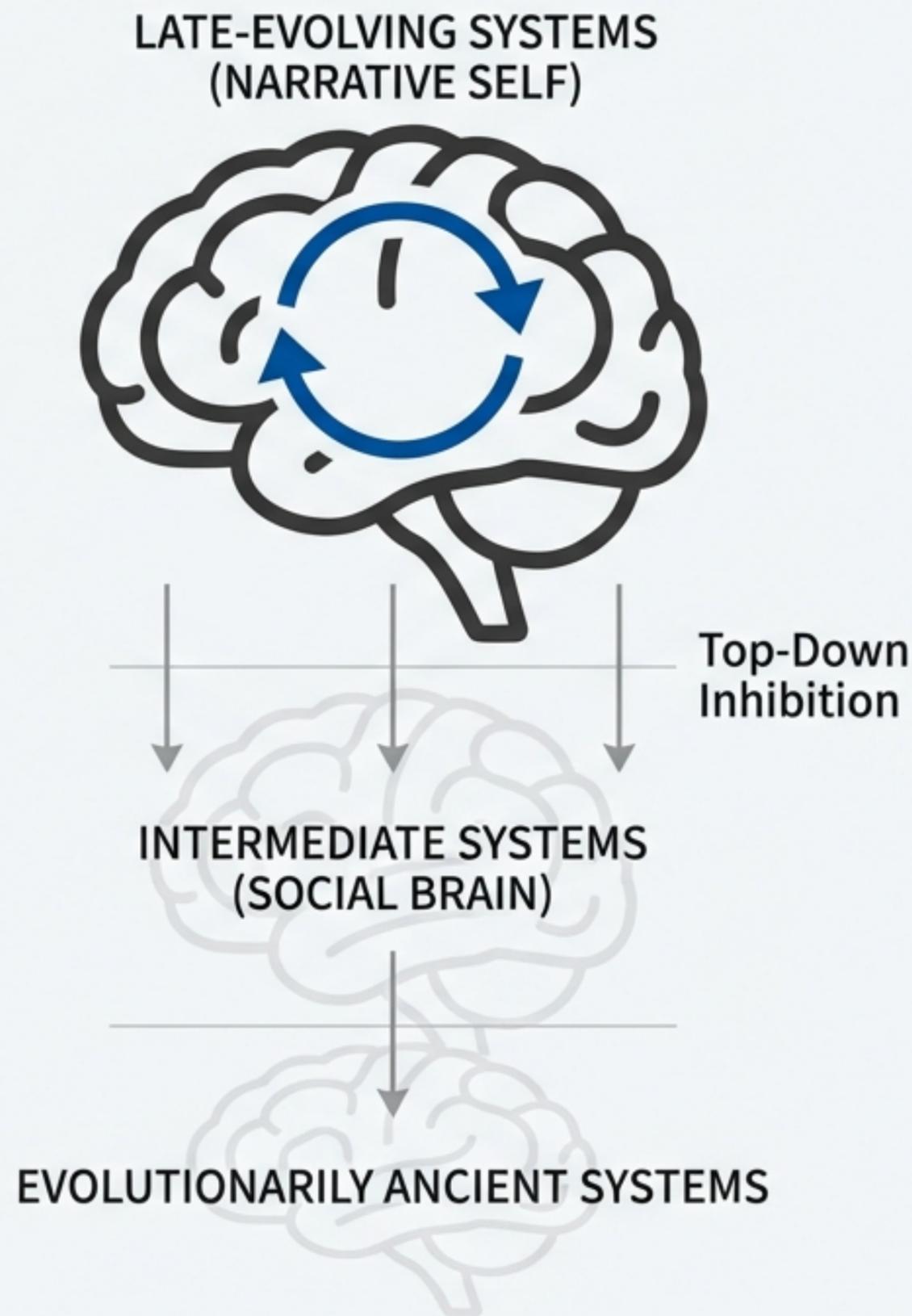
- システム：報酬系の調節不全と拒絶過敏性
- ダイナミクス：情動の不安定性 → 反復パターンの形成
- 結果：エピソード的なうつ（部分的なりセット）



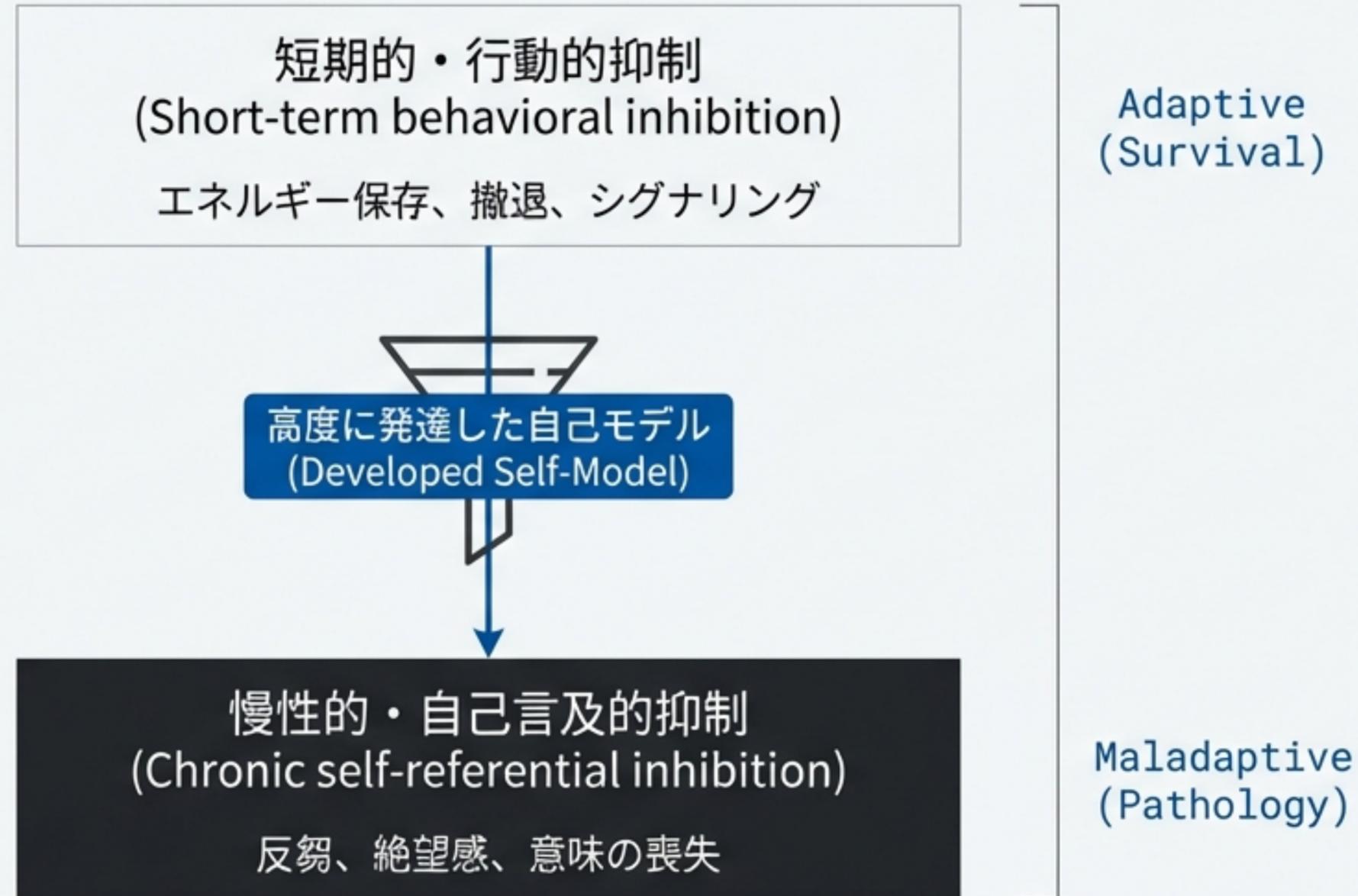
成人期：物語的自己と自己維持的なループ

意味に基づく苦悩 (Meaning-based suffering)

- **構造**：デフォルトモードネットワーク (DMN) & 内側前頭前皮質
- **プロセス**：自己言及的な反芻 (過去のレビュー/未来への恐怖)
- **結果**：慢性的・自己維持的なうつ状態



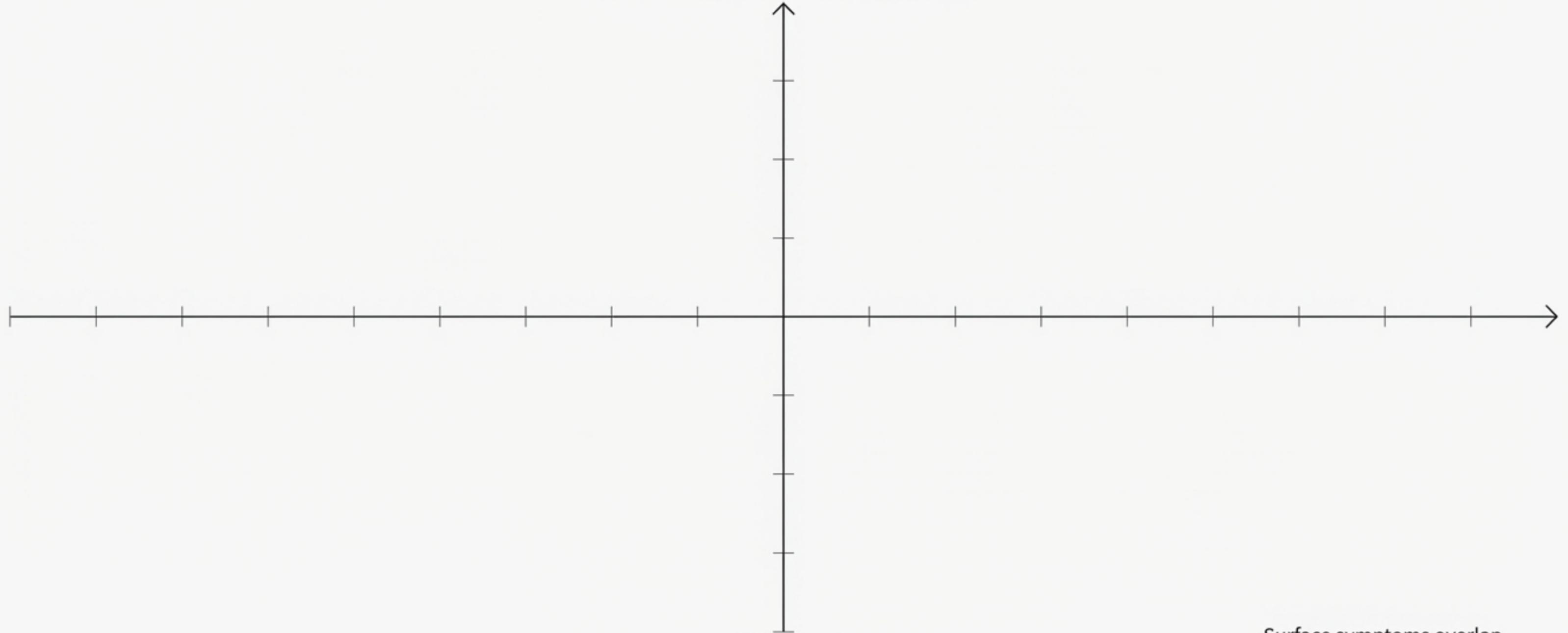
進化的適応から病理への転換



“ 「うつ病は、進化的に適応的な抑制システムが、高度に発達した自己モデルによってハイジャックされたときに病理化する。」 ”

構造的鑑別のための概念地図

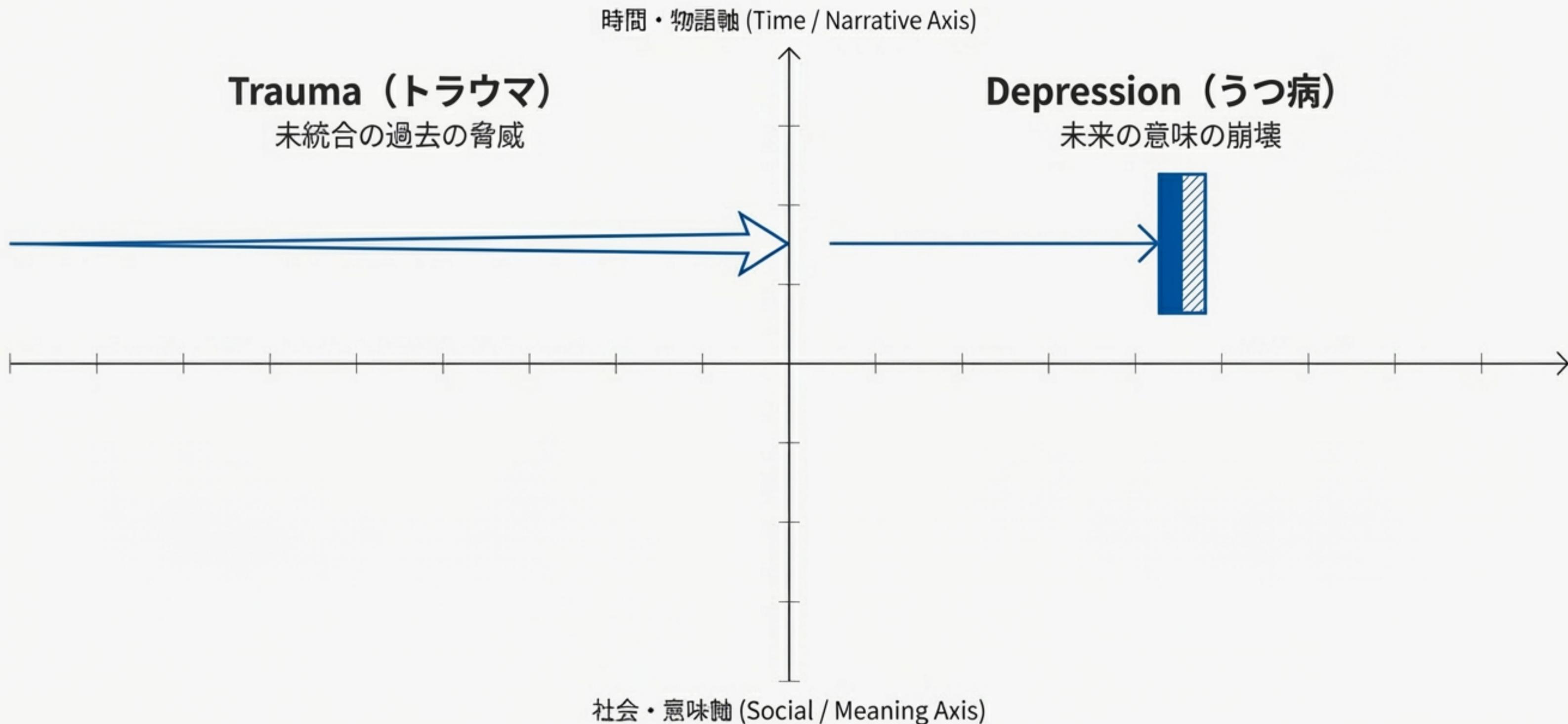
時間・物語軸 (Time / Narrative Axis)



社会・意味軸 (Social / Meaning Axis)

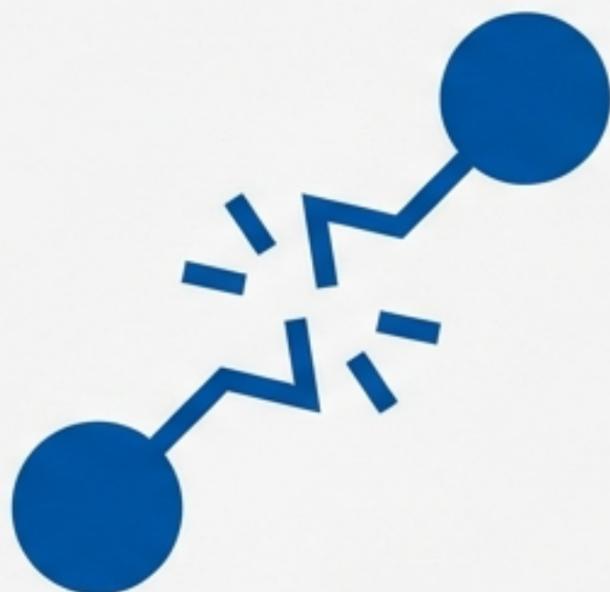
Surface symptoms overlap,
but structural mechanisms differ.

時間軸の病理：過去の侵入 vs 未来の崩壊



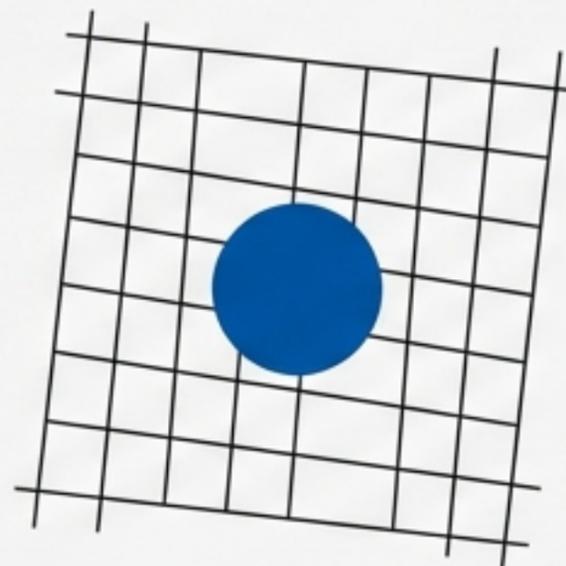
社会軸の病理：関係性の不全 vs 世界モデルの相違

時間・物語軸
(Time / Narrative Axis)



Attachment Disorder (愛着障害)

関係性における安全の欠如



Autism (自閉スペクトラム症)

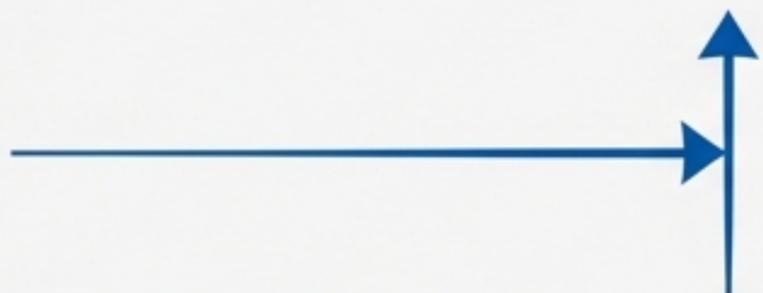
社会的世界モデルの構築における相違

社会・意味軸
(Social / Meaning Axis)

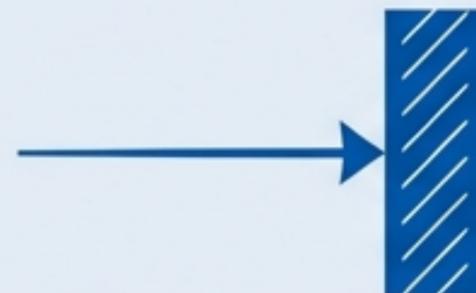
臨床における全体像：鑑別診断の座標

Time / Narrative Axis (時間・物語軸)

Trauma (トラウマ)
Intrusive Past (未統合の過去の脅威)



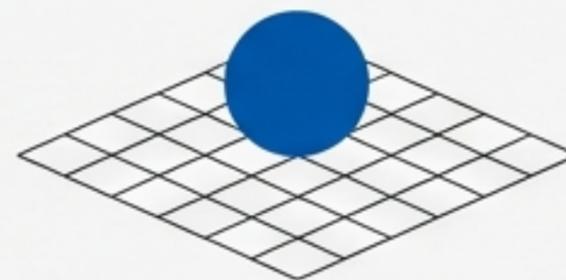
Depression (うつ病)
Collapsed Future (未来の意味の崩壊)



Attachment Disorder (愛着障害)
Relational Safety Failure (関係性における安全の欠如)

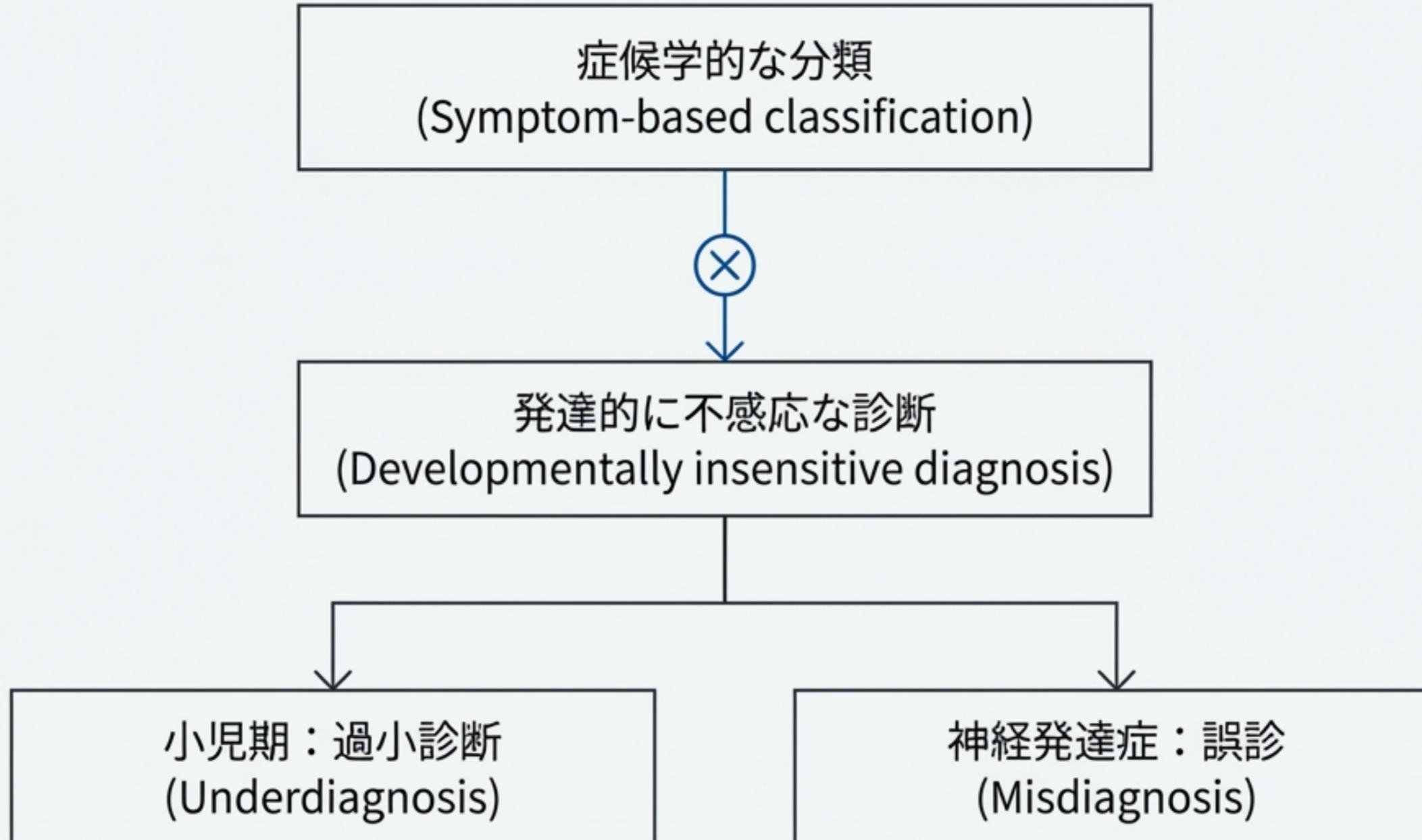


Autism (自閉スペクトラム症)
Divergent Model (社会的世界モデルの構築における相違)

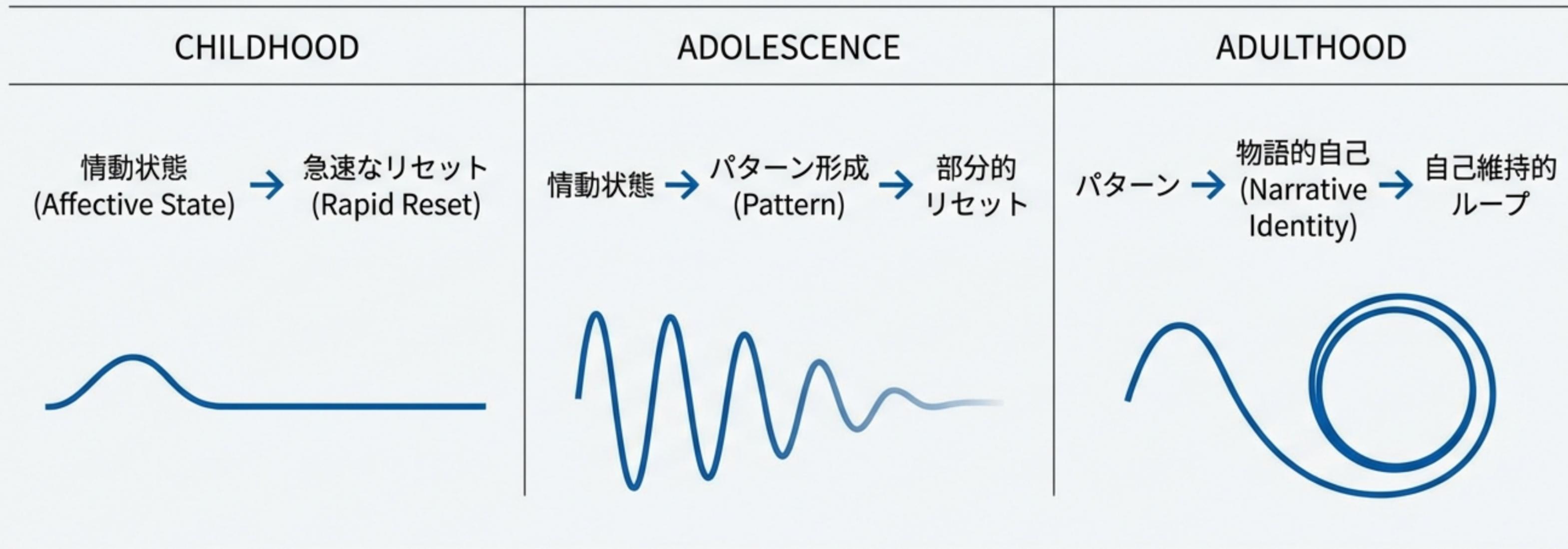


Social / Meaning Axis (社会・意味軸)

症候学的診断の限界



発生学的変容の総括



What changes is not the affect, but its integration into the self.

結論：苦悩の「層」への介入

うつ病の理解には、自己の進化への理解が不可欠である。治療は、その苦悩が位置する発生学的レイヤー（身体・社会・物語）に適合しなければならない。

INTERVENTION MUST MATCH THE ARCHITECTURE.

